

市民の声 支持の中江 高まるに増日

日刊

動労千葉

83.4.1
No. 1304

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二九三五六・公衆電話(22)七二〇七

中江勝利にむけもう一歩のがんばりを

中江選挙闘争は、昨年の十一月九日以降、約五カ月間にわたる全組合員の奮闘により、船橋市民の圧倒的共感を呼びおこし、中江候補が確実に勝利しうる展望をつくりだしてきています。告示まであと十四日、もう一歩のがんばりです。オルグ団はオルグに全力を、すべての組合員は諸行動、諸集会参加に全力をあげ、なんとし、中江候補の必勝をかちとろうではありませんか。

勝利できる状況を

つくりだした全組合員の奮闘

中江選挙闘争は、準備も地盤もない、まったくのゼロから出発しました。未知の街・船橋に核事務所を設け、ここを拠点に全市内を席巻するピラ入れ、駅頭街宣とピラマキ、組合から一市民にいたるまでのオルグ活動、「反核・護憲」の署名行動、映画「侵略」の上映会や座談会など、全組合員が船橋全域を駆けめぐる一大運動を展開してきました。

この闘いは船橋市に新風を吹きこみ、「中江昌夫」の名前を知らない市民は一人もいないといわれる状況をつくりだすとともに、中江昌夫労働千葉を支持、推薦する労働組合の増大と、中江を支持する多くの市民を獲得してきました。

中江事務所には、街宣を聴きピラを読んだ市民から「中江昌夫に投票します」という電話が寄せられ、また「船橋市民の会」のたたかいの報告に



津田沼駅前反核護憲を市民に訴える中江候補

行った仲間が激励され、カンパを受けるといふ状況が生まれています。

こうしたすばらしい成果の一つひとつは、組合員一人ひとりの「中江を当選させるんだ」という意気込みと、献身的な努力の結果であるということについて、はつきりと確認しようではありませんか。

勝利できる状況を

つくりだした路線の正しさ

それともう一つ。中江候補労働千葉のかかげる路線の正しさが、労働者・市民の心をとらえているということだ。

「改憲」「不沈空母」発言をみるまでもなく、中曾根内閣の反動攻撃は労働者・市民のあいだに大きな怒りと戦争への危機感を生みだしています。問題は、こうした気持ちの吸いあげ、解決に向けて取り組む運動や組織がないという事実であり、反核・護憲をかかげ中曾根と真向から対決し、本気で中曾根打倒を呼びかける中江候補であるからこそ、市民の熱い共感と期待が集まっているのです。

いま、これを確実に票に結びつけていかねばなりません。

中江の勝利で中曾根打倒の

全国的うねりをつくりだそう

反戦・反核をかかげ、三里塚闘争を闘う中江昌夫労働千葉が船橋で勝利することの意義は、はかりしれないものがあります。

すなわち、船橋の状況が全国に波及し、動労千葉・三里塚と連帯する反戦平和運動の高まりと、中曾根内閣打倒の闘いの大きなうねりをつくりだすことはまちがいないからです。われわれは、こうした情勢をこじあけることができるかどうかをかけた闘いとして絶対に勝利しなければなりません。

動労千葉は、これまでの闘いの蓄積と、未来をかけて、全力で中江候補の必勝をかちとろうではありませんか。あす二日、船橋中央公民館に結集しよう！

4・2中江昌夫とともに

新谷のり子 明日を歌う／船橋市民の集い